



# 平成 稲荷 戦記 1

Batta

# 平成 稲荷 戦記 1





# まえがき

おはようございます。Battaです。狐耳が好きです。  
この度は「平成稲荷戦記1」を手にとっていただき  
ありがとうございます。

このお話は、稲荷狐とメガネ女子高生が  
妖怪とズバズバ戦って最後に丸く収める  
ほのぼのの妖怪バトルマンガです。

実在の人物・地名・その他もろもろには  
一切関係ありませんので念のため。

又しい本編と異常なテンションのバトルを  
マターリ楽しんでいただければ幸いです。

2007.8 Batta

## 目次

平成稲荷戦記 第一話・・・9

おまけ・・・27

さつきさん (ゲスト)・・・30

れんにゆうきすけさん (ゲスト)・・・31

箱さん (ゲスト)・・・32

ひかりんさん (ゲスト)・・・33

あとがき&奥付・・・34





# 第一話

## 青三根山の転移石



ごめんくださいーい  
神足さーん

えー・・・  
安行稲荷神足さま  
おいでくださいませ



あー神足さん  
今日はちゃんと

油揚げ  
もってきたから







して  
今日は何用できたのじゃ

クーン

あー  
それがね

ごめんくださいーい

きたきた!



あの・・・  
こんにちは  
はじめまして!

今日の依頼人の  
みつちやんだよ



・・・  
石?



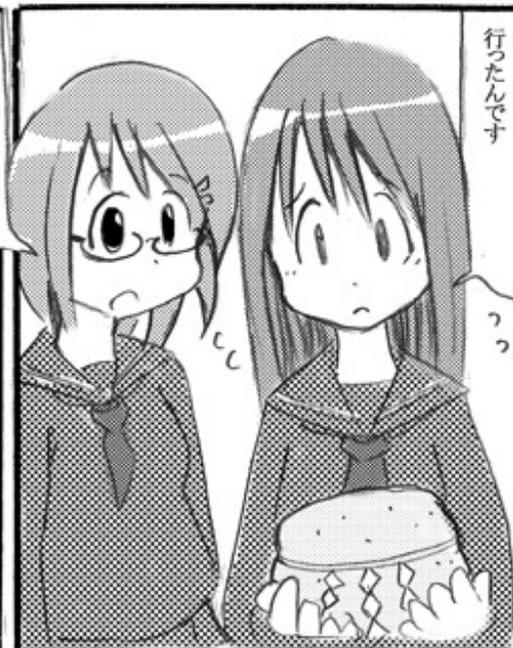
・・・  
どうした  
ワシの顔に何か  
付いてるか?

あ、いえ  
お稲荷様の  
お使いで本当に  
狐さんなんだなあと

ふむ...まあよい、  
して用件は?

はい...  
あ...

この前、学校の課外授業で  
青三根山まで遠足に  
行ったんです



登ってる時に、  
みっちゃんも  
この石に  
つまづいちゃってね

怪我はなかったのですが  
そのまま登ったんですが  
帰りにいきなり  
リュックが重たくなって



開けてみたら  
何故かこの石が  
入ってたんです



それで  
なんだか怖くなっちゃって

その時は道端に  
置いて帰ったんですが



家に帰ったら  
私の部屋にあつて・・・  
これって何なんだろう



移動する石...か



私も最初は  
結界の支点か何か  
かと思っただけど

.....

石だけで勝手に  
移動するっていうのも  
なんだかおかしいじゃない

もしかしたら  
悪いものでも憑いてる  
のかなって.....

青三根山か  
.....

それで  
ワシにこの石を  
処分しろと

その通り！  
もちろんタダでは  
言わないよ

みっちゃん家  
お豆腐屋さんだから  
油揚げをうんと  
お礼するって

あ、これ  
うちで作った  
ものです

A☆BU☆RA☆GE

おいしい  
油アゲ

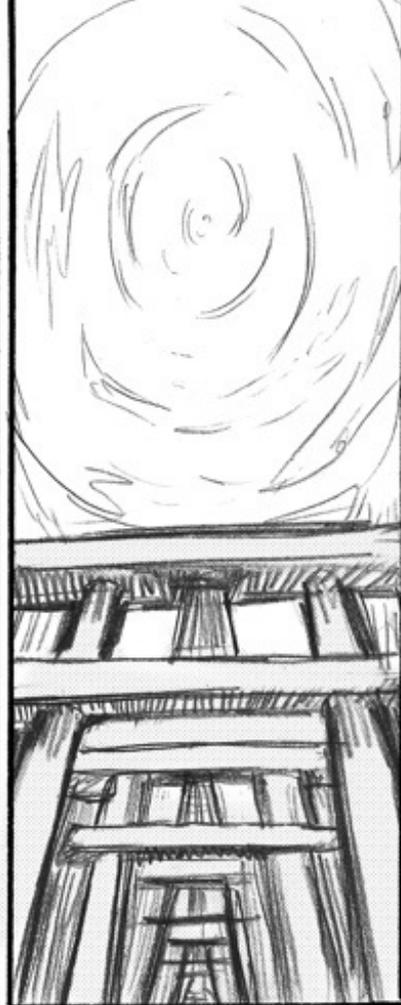
それじゃ神足さん、  
この件 お願ひしても  
いいかな

ふむ、良いじやろう  
ちと手間が掛かりそう  
じゃから、アカネ  
お前も少し手伝えよ

もしが  
もしが



みっちゃんには  
帰ってもらったよ



まあな  
ワシらは社間を  
移動する時  
「転移の術」という  
通力を使っている  
のじゃが

それって  
そんなに  
物騒なの？



言われたとおり  
呪符も持って  
きたけど



ま やってみんな  
分かんが・・・  
段取りはよいか

う、うん  
じゃあ行くよ

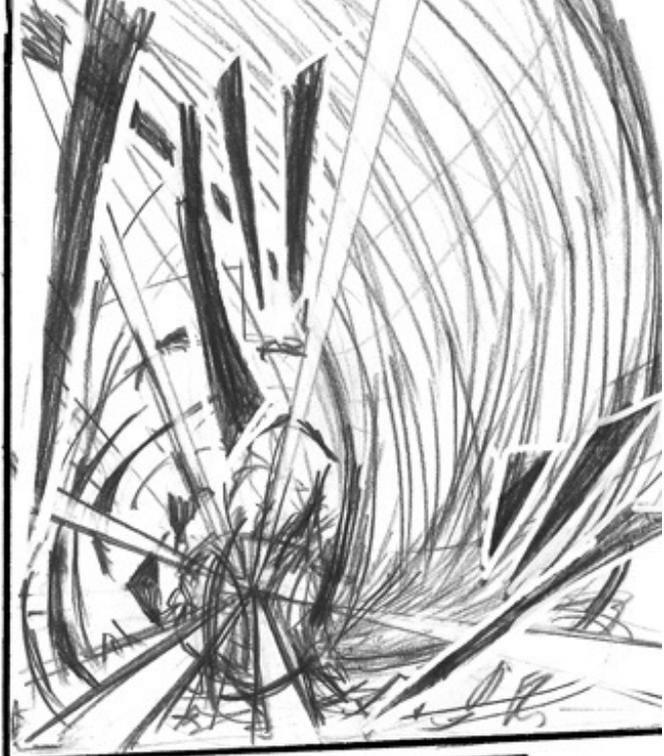


どうも  
こいつも「転移の術」  
を使っているらしい  
通力を使えるとなると  
ただの低級霊では  
ないからな・・・

能動結界——！

勅命  
自律封殺防御

急々如律令！



アカネ  
結界薄いぞ！  
何やってんのじゃ

ほれ 言っとる間に  
石の実体様が  
出てくるぞ！

次手じゃ！  
奴を絶対に境内から  
出すなよ アカネ！

ち、ちゃんと  
やってるよう

だ、  
出すなって  
言われても

勅!  
範囲指定受動結界

急々  
如律令

境内全方位に結界を  
張ったから これで  
大丈夫だと思うよ

よおし 上出来じゃ  
とつとつ石の小僧を  
片付けて飯にするぞ



小僧だと！  
さつきから散々虚仮にしやがって

俺に喧嘩を売っておいて  
タダで済むと思うなよ！



神足さん  
これって  
鬼・・・？

いや 見た目には  
よう化けとるが  
中身は別物じゃ

ようやく封印が  
解けたと思ったら  
早速化け狐の相手か  
全く ついてないな

小僧！  
お前の事情は  
知ったこっちゃないが  
人様にかけて迷惑分の  
ツケは払ってもらうぞ

そうだな まずは  
お前が俺に売った  
喧嘩の分から払ってやる  
！

はっは  
そんな竹やりで  
どうするつもりだ？  
この化け狐！

五月蠅い奴じゃな  
コイツがただの竹やり  
だと思うてか？

それにワシは  
化け狐ではない！

稻荷神  
宇迦之御魂神が眷属！



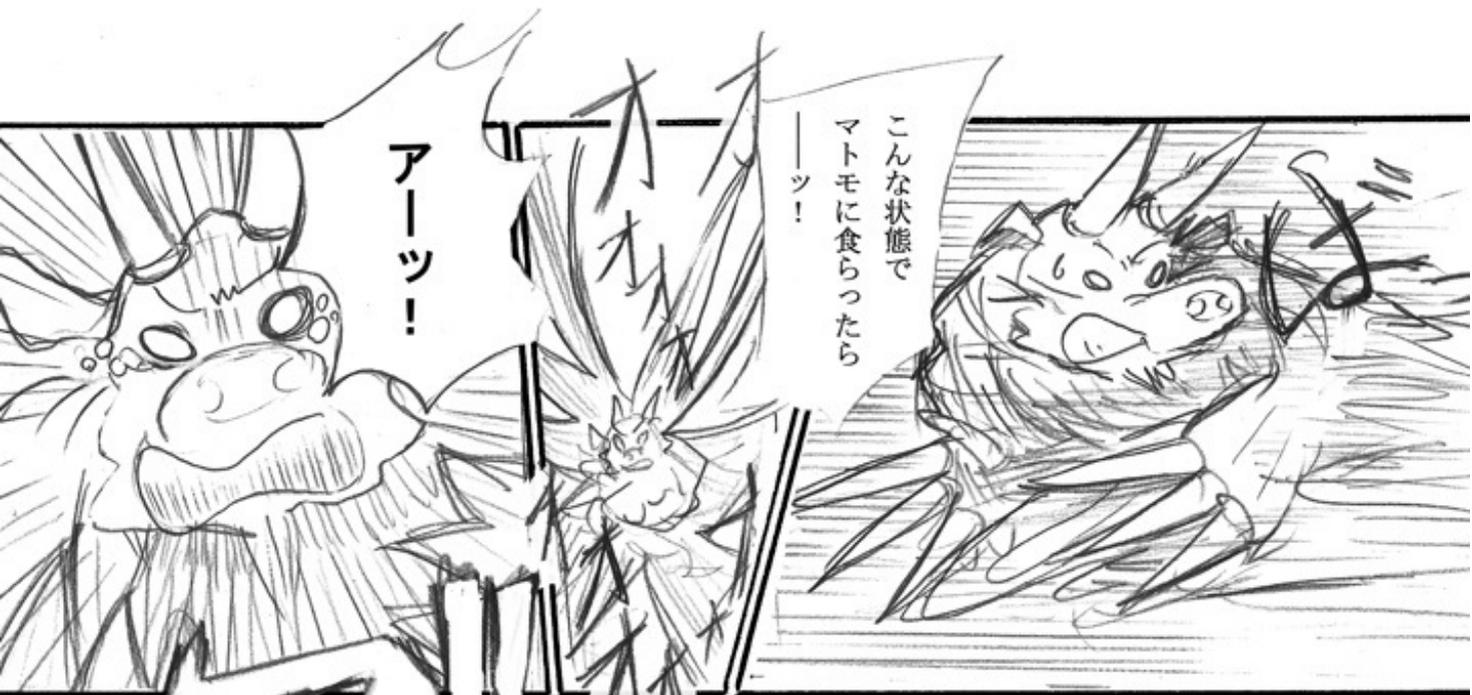
安行稻荷神足じゃ！



く、管狐  
だどー!?



ち、ちよ！  
タンマタンマ！



高濃度にある通力と  
妖力がぶつかると

反発力が許容量をこえて  
大爆発を起こすんじゃない

通 妖  
BOMB

あの娘から  
石を渡された時  
わずかに通力が  
漏れていたのが  
管狐を用意したのだが  
正解じゃったな

あれ、でもさ  
神足さんは管狐  
大丈夫なの？

稲荷狐も通力使うとか  
言ってなかった？

ん、まあな  
それは説明すると  
少し長

俺を無視して  
話を進めるな！

げほっ…まったく  
管狐を使う稲荷狐なんて  
聞いたことないぞ

この様あ…げほっ  
俺が何したって  
言うんだよ

お前は自分の  
したこと  
自覚がないかも  
しれんが

あの娘は相当  
迷惑しておったと思うぞ

少しは懲りたか？  
青三根の猫又よ

えっ さっきの鬼の  
正体ってこの子なの？

かわいい



一昔前 青三根山で  
鍛練していた陰陽師が

対鬼用に強化した  
猫又を使役していた  
という話を  
聞いたことあるが

必要なくなったので  
危害が及ばんよう  
封印したのじやろう

それじゃ みつちゃんも  
封印を解いちやっ  
つてこと？



うむ だいぶん  
封印が弱まって  
たんじやろうな

長い間 封印されていて  
気が立っておるのは  
分らないでもないが



それが人様に  
迷惑をかける  
理由にはならんぞ

最後に何か言訳があれば  
聞いてやるが・・・



ねえ  
神足さん



その子 悪気があって  
みっちゃんに付きまどった  
訳じゃないと思うの  
・・・

人の都合で  
ずっと長い間  
封印されててさ・・・

・・・  
さみしかったんじや  
ないかな

何とかして  
あげられない  
・・・？

だ、黙れ小娘ッ！  
そんなわけあるかあ  
俺もこれまでだ  
さっさと消すなり なんなり  
すればいいじゃないか・・・！

ぽろぽろ

・・・猫又よ  
お前 たしか通力は  
使えるのじやったな

数日後

神足さーん  
おいでくださいませ

クニ  
クニ

あれ、  
今日は早いね

何じゃ  
アカネ

おう、思ったよりは  
役にたつとるぞ

そうそう  
あの子の  
様子を見にきたんだ

うむ！  
油揚げはこの前の娘の分  
間に合つとるからな

ありがとうまはて  
ごめです  
全部あげの箱

もしや

もしや

これ、きちんと  
挨拶せぬか



安行も ちょうど  
手が足りてなかった  
からな  
これでワシも少しは  
楽ができそうじゃ



か、勘違いするな  
俺はここで働くなんて  
言った覚えはないぞ!



おう、まだ管狐を  
食らい足りないと  
申すか



く、管狐だけは  
勘弁してくれえ



いや  
勘弁ならんぞ  
わははは!



第一話 完



ページが余ったので

# 図解！登場キャラ

## 宍行稲荷神足

(あんぎょういなりしんそく)

稲荷神のお使いで、「神足」とはその階級のこと。そこそこ位は高い。  
武闘派で知られる宍行稲荷神社の筆頭稲荷狐でもある。

普段は土地の気の流れのコントロールや  
土地神を訪問し、穀物の実り具合の調査をしたり、  
おさいせんをくれた人のところに出向いて  
願いを聞いたりしている。  
妖怪退治は本業ではない。

本人は主に通力を使うが  
第一話では妖力を使う管狐を  
戦闘に使用した。

平常時



## 稲田アカネ

(い nada あかね)

高校三年生。  
先祖代々、安行稲荷神社の  
管理をしている稲田家の長女。

神足さんとは幼少の頃からの仲。  
呪符も神足さんに教わった。

彼女自身に 特別な力はないが  
正義感が強く、困っている人は  
放っておけない性質。

→みっちゃん  
アカネの同級生。  
豆腐屋の娘。  
少々天然だが  
早起きは得意。



挨拶せぬか

←青三根山の猫又  
(あおのみねやまのねこまた)  
陰陽師により討鬼用に  
強化された猫又

鬼に変化することができる  
今後の活躍に期待。

←さて次のページから  
ゲスト原稿始まりますよ！

※以下4 ページ、ゲスト原稿のため割愛

# あとがきと反省

最後までお付き合いいただきありがとうございました！  
「平成稲荷戦記1」いかがだったでしょうか？

個人的にはカラー見開き絵がなかなか気に入っています。  
塗ってる途中に作画神が降臨してきたので  
自分の実力以上出た代物…ktkr！

マンガの方は、主線を鉛筆書にしたことで  
若干作画崩壊を抑えられた気がしますが  
(て、手抜きなんかじゃないんだからね！)  
課題は山積みです、うえ。

本誌を発行するにあたり、ゲスト原稿を寄稿いただきました  
ひかりんさん、箱さん、さつきさん、れんにゆうきすけさん(順不同)  
また拍手やメールで激励の言葉を送ってくださった皆様、  
そして本誌を手にとって下さった貴方！

本誌を無事に発行できたのは、  
あなた方のおかげです。本当にありがとうございました！

2007.8.10 Batta

奥付

2007年8月26日 初版発行

発行 かんづめクオリティ

発行者 Batta

Mail:w\_comcom@hotmail.com

URL:<http://canzume.blog77.fc2.com/>

印刷・製本 マツモトコロタイプ光芸社様



2007. 8. 26 発行

# かんづめクオリティ

<http://canzume.blog77.fc2.ne.jp>

## 平成稻荷戦記 1

<http://p.booklog.jp/book/21596>

著者 : Batta

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/batta0428/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/21596>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/21596>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ